

水曜会

第45号

平成30(2018)年10月発行



まち福山

発行者 福山市議会 水曜会
住所 〒720-8501
福山市東桜町3番5号
電話 084-928-1123
FAX 084-920-1104



早川佳行新議長

五月臨時会

五月十四日・十五日臨時会を開き、議長に我が会派の早川佳行議員が選任されました。任期は、再来年の四月までです。

議長に
早川佳行氏を選出

9月補正予算額

一般会計	79億9,820万円
特別会計	7,942万円
企業会計	1億2,745万円
補正予算総額	(全会計) 82億0,507万円

七月の豪雨災害対策
に総額71億6474
万円

一般会計では、豪雨災害への対応として、過去最大となる約72億円の災害関連経費を計上。本市では今回、観測史

本会議は九月四日開会。79億9千万円余の一般会計補正予算案など25議案を賛成多数で可決しました。また、議員提案の「福山市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正案」は、賛成多数で可決。「核兵器禁止条約の署名・推進を求める意見書案」は賛成多数で採択しました。

九月定例市議会

上最高となる雨量を観測し、約2000haもの浸水被害、約2000戸の床上・床下浸水、山腹崩壊、ため池の決壊や損傷などの市内に甚大な被害をもたらしました。

その為の災害関連経費として、具体的には道路、橋梁、水路などの土木施設や、農地、農道、ため池など農林水産施設、斎場、墓地、清掃工場など

の衛生施設です。

小中学校のエアコン設置に向け、工事費等1億5000万円

市内小中学校のすべての普通教室にエアコンを

9月一般会計補正予算(主な災害関連費)	
7月の大暴雨による災害関連費	総額72億2,766万円
土木施設	30億8,330万円
(国庫補助災害復旧事業 道路103、橋梁8、河川15など)	
(市単独災害復旧事業 道路543、橋梁5、河川127など)	
農林水産施設	17億1,020万円
(県補助災害復旧事業・市単独災害復旧費事業)	
衛生施設	4億6,740万円
(西部清掃工場・神辺斎場・大山共用墓地ほか)	
教育施設	1億600万円
(小学校3、中学校1、運動場2、山手公民館、神辺文化会館)	
災害廃棄物処理費	7億3,730万円
災害援護資金貸付金	3億6,600万円
災害援助費	3億4,700万円
土地改良区施設整備費補助	1億2,700万円
(八尋排水機場電源盤等機器更新費)	
水防従事者職員手当	5,800万円
文化財保存事業費補助(イコーカ山古墳)	1,729万円
排水機等維持管理費(八尋排水機場)	1,290万円
水防対策用資材費	650万円
土地改良区施設維持管理費(川北)	270万円
し尿収集費(汲取費補助)	170万円

これまで、国が制度を創設すべきとの基本姿勢であったが、時代背景や多くの市民の声を踏まえ対象を中学生まで拡充しました。

これまで、国が制度を創設すべきとの基本姿勢であったが、時代背景や多くの市民の声を踏まえ対象を中学生まで拡充しました。

子どもの通院・入院への助成、中学生までに拡充

設置する為の工事費等1億5000万円を計上。総事業費は、約64億円。2022年5月までに完了します。

その他、小中学校の空調設備など教育環境の充実や乳幼児等医療対策費など子育て支援に関するものであり、その内容は、安心安全な市民生活を取り戻す為に必要不可欠であり、また、市民要望の高いものであり着実に実施する事を求め賛成しました。

その主なものは、豪雨による災害関連経費として、土木施設や農林水産施設の災害復旧費などです。

九月議会で水曜会の一般質問者と主な質問項目は、左記の通りです。(発言順)

○高田健司 市長の政治姿勢について

○今岡芳徳 災害対策として、排水ポンプの状況と更新、増設について

○大田祐介 芦田川の治水対策について

○連石武則 七月の豪雨を受け、本市の防災対策について

○石口智志 いじめ問題について

詳細は、十一月一日発行の「福山市議会だより」に掲載します。

賛成討論